

送 辞

春の訪れを感じる今日この佳き日に、ご卒業を迎えられた先輩方、本日は誠におめでとうございます。私たち在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方がこの短大で学ばれた日々は、きっと多くの思い出に満ちたものだったことと思います。保育という道を志し、子どもたちと向き合うための知識や技術を身につけるべく、勉学に励まれたことはもちろんのこと、実習や課外活動、そして友人や先生方との交流を通して、多くのことを学ばれたことでしょう。時には困難に直面し、思い通りにいかないこともあったかもしれません。しかし、その一つひとつの経験が、先輩方をより強く、より優しく成長させたことと思います。

私たち在校生は、そんな先輩方の姿をいつも憧れとともに見つめていました。授業での真剣なまなざし、わいわいひろばでの子どもたちへの温かい関わり、そして何より、後輩である私たちにも優しく声をかけ、励ましてくださる姿に、心からの尊敬と感謝の気持ちを抱いています。実習や行事の準備などで悩んでいたとき、先輩方がアドバイスをくださったことが、どれほど心強かったか分かりませんが、先輩方の温かい支えがあったからこそ、私たちは安心して学びを深めることができました。

これから先輩方は、それぞれの道を歩まれることとなります。保育の現場で実践を積まれる方もいれば、さらに学びを深められる方もいらっしゃるでしょう。どの道に進まれても、短大で培った知識や経験、そして仲間との絆は、これからの人生において大きな支えとなるはずです。保育の仕事は、子どもたちの成長に深く関わる、大変意義のあるものです。時には悩み、戸惑うこともあるかもしれませんが、先輩方ならば、持ち前の優しさと努力で、きっと乗り越えていかれることでしょう。

私たち在校生も、先輩方の背中を追いかけながら、一步一步成長していきたいと思っています。これまでのご指導、本当にありがとうございました。先輩方がこれから歩まれる道が、たくさんの笑顔と幸せに満ちたものでありますよう、心よりお祈り申し上げます。

最後になりましたが、改めまして、ご卒業おめでとうございます。先輩方の今後のご活躍を心より願います。送辞とさせていただきます。

令和七年三月十六日
作新学院女子短期大学部
在校生代表 瀧 遥陽